

# 令和5年度 北狩野ケアセンター

## 小規模多機能型居宅介護

### サービス評価

#### ◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

#### ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価（事-①～⑨）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月10日（17:30～18:30）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	9	5	0	14

前回の改善計画	緊急的な急な利用者には、支援方法に職員が戸惑わないように簡潔に優先する事項を伝える。情報を確実に引き出し、全職員の統一ケアをする。信頼関係を築くまでの時間の短縮化を目指すため現状以上の情報共有をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報発信し情報が得られた都度、申し送りやカンファレンスで情報共有が出来た。優先すべき事項、注意すべきことは共有できたが、支援内容の追加などで戸惑い情報を確実に引き出すところは完全に備わっていない部分もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	12	2	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	11	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	5	9	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	12	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始前の準備として本人や家族と会い、思いを聞き取った。また訪問や面談等、現場職員が同行。自宅内や周辺の環境を知るため写真、動画を活用した。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の思いは聞けても、家族と接する機会がなく家族との関係作りが出来ていないケースもある。職員の全員参加のカンファレンスでないため、書面の記述では伝わりにくい部分があった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用後に関わった職員が確実に情報を伝え、カンファレンスを行い、記述に残す。参加できない職員には後日、口頭でも伝え支援方法の再確認を行い、統一ケアに努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令5年 11月 10日 (17:30 ~ 18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	6	0	14

前回の改善計画	ミーティングでは現状把握と共有までに留まらず、次の対応まで決める。 個別ケアの充実で利用者の思いを汲み取る。
前回の改善計画に対する取組み結果	現状把握と共有を踏まえ、その先を検討しているが、個々に出来ている人利用者と出来ていない利用者 に差がでている。 その人の思い「～したい」を知ることが難しいと対応が置いていかれてしまう。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	9	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	4	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	10	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	8	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 経過を振り返り、本人と話しをして次の目標を立てている。 担当の職員は当面の目標を理解し、他の職員に会議などで情報共有し意見を伺って、目標に沿っているか確認している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の状況によっては、職員が目標を決めていることで利用者が目標を把握しているか? それをしたいのか? が疑問である。 直ぐに成果が現われない場合、行っている支援がそれで良いのか不安になる時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 目に見える、聞くことのできるニーズだけでなく、訴えることの出来ない見えない、聞き取ることが出来ないニーズに気づき、利用者と一緒に考え、個別支援に繋げていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 10 日 (17:30 ~ 18:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	6	1	14

前回の改善計画
心的心声を察し、利用者の言葉の訴えだけでなく、心的心声や表情から利用者の気持ちを読み取り情報共有し計画プランにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
一人ひとりじっくり観察することは出来ても、訴えのない心的心声までは読み取れず、計画プランまでには繋がられていない。 状態の低下した方にどこまで対応していくか?利用者の負担になってしまうと思うと躊躇してしまう。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	7	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	7	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11	1	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	家族からの言葉からヒントを得たり、在宅時の情報から汲み取った。 情報共有され、次の議題になったことについては即時的に支援ができています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	内面的な心の部分については支援が難しい。利用者が遠慮して思っていることを口に出せていないのではないかと感じている。次の対応を決めても周知、徹底が出来ているか? 個別ケアはどうしても単調化してしまっている。汲み取りやすい方にスポットが当たりやすくなる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者の心的心声を察し、受け身にならず先手を打っていく。その人を知ること。知ることで視野を広げ選択肢を増やす。引き出した事や思いをプランに反映させていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月10日(17:30～18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	6	4	3	14

前回の改善計画
地域との関わり方について利用者の地域内でのその方を知る。民生委員のしくみについて理解する。
前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議に介護職員が参加することにより、民生委員のしくみを知り関わりを持てた。民生委員をはじめ地域との関わりを積極的に持つことができた。民生委員から地域の課題や取り組んでいる内容を聞き共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	6	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	6	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	9	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	6	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	独居の方を支えて下さる地域の支援者の繋がりを持ち、民生委員と情報共有を行った。困難事例の際、民生委員を含め関連している方々と支援内容の共有と今後についての意見交換を行い解決に結び付けることができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	所長、ケアマネは民生委員と多く関わるが、現場の介護職員に関しては民生委員と関わる機会が少なく民生委員のしくみをあまり理解ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	運営推進会議以外にも民生委員の方との交流を持ち、地域の課題や取り組まれていることなどを情報共有して多くの職員が理解していきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月10日(17:30 ~ 18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4	9	2	0	14

前回の改善計画	変化がある時や緊急性がある時に、選択肢の中でその方に合った柔軟な支援をする。家族が状況の変化に気づき反応できるように対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	緊急性がある時も個々に対応した。家族の意向や性格なども考慮し支援した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	9	2	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	9	1	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	12	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	1	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 小規模多機能の特性を活かし、急遽の訪問、宿泊、利用日の変更等を行った。 生活スタイルに応じて柔軟に行えている。(夜だけ利用、昼食のみ。配食など) その方の希望や目標に添えるように困難でも諦めずに計画、実行し自宅復帰ができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 家族が利用者の状態変化に気づきにくいケースがあり、こちらから示しても理解を得ることが難しい。 食費、居住費の出費が増え、サービス量を減らすこともあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者、家族の大変さを汲み取り、お互いに情報共有していく。 現状を踏まえ、不安にならないように今後の支援について明確に提案していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 10日 (17:30 ~18:30 )

6. 連携・協働

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	4	0	14

前回の改善計画
コロナ禍でも可能な活動やイベントには積極的に参加し連携、協働していく。 行政、医療機関、地域と今後も連携していき、支援の輪を広げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍であっても窓口を開き、可能な活動を受入れ、参加した。 新規受入れ時に行政、医療機関と連携し支援の輪を広げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	5	4	2	3	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	5	3	3	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	6	3	3	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	7	5	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	子ども食堂では、毎回違うボランティアの方に来て頂き支援を頂いた。周知には地域、子ども会に協力。多くの親子連れが来園。 教職員の教育実習は、市より当施設を選んで頂き、実施できた。 町内の行事として文化展の出展、秋まつり、子ども会のイベントに関わることが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	行政、医療機関の会議等は、出席者が限定されており、それ以外の職員が参加する機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	町内、近隣地区の方と知り合う機会を作る。 ボランティア等、施設側がして頂くことが多いが、こちらから出来ることを増やし、連携と協働を活発化する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月10日(17:30～18:30)

7. 運営

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	2	5	14

前回の改善計画
地域の総会や会議に参加して情報共有をしたい。町内会長に挨拶に行く。
前回の改善計画に対する取組み結果
町内会長とはあったが、こちらから挨拶にはいかなかった。 他の地区の町内会長とは交流を持ち来園頂き、その地区の敬老会へ参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	4	2	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1	2	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	1	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	2	8	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
運営推進会議では地域の方の意見を聞く機会があり、情報発信が出来ている。民生委員からの情報は共有できている。 子ども会の会長とは、子ども食堂、県産お米配付等で連絡し来園して頂き交流した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議や情報共有会議の日程が職員の勤務シフトに反映されていないことがあった。そのため運営推進会議に現場職員が毎回参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の総会などに出席して地域の情報を知り関わっていく。お互いの情報を共有していく。 運営推進会議に多くの職員が参加できる勤務体制を整える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月10日(17:30～18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	5	0	14

**前回の改善計画**  
代表で行く会議等は、参加後に確実に周知をして共有する。  
自分のスキルアップのための研修を自ら見つける意欲を身に着ける。  
職員全体が接遇力を上げて質の向上に繋げていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
会議録は掲示し周知している。重要なこと口頭で伝えている。  
スキルアップに繋がる研修を探している職員もいる。  
当事業所に接遇委員がおり、職員研修やケース会議にて職員に接遇力を高めることに努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	11	0	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	8	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	6	3	3	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	7	3	1	14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
交流研修後の感想を共有し、良いところを取り入れる努力をしている。  
法人内外の同事業所との情報共有を行い、スキルアップに繋げている。  
職員が出られそうな研修を探して出席を促し、実施した。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
行きたい研修や出席させたい研修があってもシフトの関係ですべてに出席できていない。  
リスクマネジメントや再発防止に努めているが、同じ案件が上がってしまう。  
ケース会議の出席が出来ない職員に重要な事項が、会議録だけでは伝わらない部分がある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
職員一人ひとりにそれぞれ、スキルアップの目標があるので、何を学び知識を得たいかを自ら考え向上の意識を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 10 日 (17:30 ~18:30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 池田、大川祐、益田、小澤、松岡、坂庭、安田、伊賀、牧野、原、大川尚、鈴木、正田、内田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	5	1	14

前回の改善計画  
人権擁護や成年後見人などを研修や会議で知識を得る機会を作り、そこから人権・プライバシーを  
実践していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
職員研修やケース会議にて人権・プライバシーを取り上げる機会が多く、知ることができた。  
身体的拘束という行動については、していないと分かるが、プライバシーについては自分では良いと思っ  
て発した言葉や行動が、他の人が見たり聞いた場合、プライバシーの配慮がないという感覚のズレが生じ  
ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	9	3	2	0	14
③	プライバシーが守られている	6	6	2	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	6	3	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	10	0	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
後見人が必要な場合は専門職に繋げている。  
拘束ゼロを実施。見守りで対応している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
無意識でスピーチロックをしてしまっていることがある。「ちょっと待って」「座っていて」など。  
職員間で背景に注意できない関係性があるのでは?と思うことがある。  
利用者が近くにいる時に利用者の話しはしないが、声の大きさに配慮が欠けている時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
配慮に心掛け、そこから人権・プライバシーを実践していく。  
職員間の人権・プライバシーの認識のズレを無くす。

地域かかわりシート（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3		2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	3	1	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・反省と改善計画で上を目指していることがわかります。
- ・厳しい目線で自己評価している点は、今後の業務向上に繋がると思う。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・利用者の以前の暮らしや得意なことを引き出し、施設では個別ケアに活かし、在宅ではそれらを継続できるように心掛け、生きがいを図ろうとする試みは見えた。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・利用者のみならず、家族に対する思いやりが感じられる計画が現状をしっかりと把握した上で具体的に立てられていることから達成度は高いと思う。
- ・情報共有においては、もう少し細かい所まで把握していると良いと感じた。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・利用者の情報を共有するのに書面や口頭での申し送りだけでなく写真や動画を活用していたとのこと。言語だけでは伝わりにくい部分を視覚的に共有することでその方の生活がイメージしやすく統一されたケアには有効な手段だと感じた。
- ・利用者の視点に立ち、小規模多機能の利点を活かした支援に繋がった事が感じられる。

【改善計画】※後日記入

- ・利用者の思い、家族の希望を理解しニーズに沿った支援をする。
- ・計画を具体的に立て、達成度の把握をして支援していく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	4		1
2	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		1
3	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		1
4	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4		1
5	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3		2

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玄関の雰囲気も対応も明るい換気で、事業所に入りやすい。</li> <li>・ 日中の施錠については、防犯や徘徊の考慮も必要と思う。</li> </ul>
<p><b>【前回の改善計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整理整頓しやすい環境ができたので、引き続き使ったものを元へ戻せるように声を掛け合う。</li> </ul>
<p><b>【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室内は整理整頓が行き届き綺麗な環境だと思う。冬季には可愛いイルミネーションが設置され地域を華やかに照らして通る人々の目を癒やしてくれる。北狩野ケアセンターの周知、イメージアップにも繋がると思う。</li> <li>・ 清潔な環境が保たれている。</li> <li>・ 利用者の作品等が展示されていて暖かさを感じる。</li> <li>・ 季節を感じる雰囲気が利用者にも良い影響を与えていると思う。</li> <li>・ 玄関内の飾りや利用者の作品、干支の作品など、見るのを楽しみにしている。</li> <li>・ 小規模多機能ではないが、くもの巣があるのが気になる。</li> </ul>
<p><b>【今回の改善計画】※後日記入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年、実施することでも変化や改善をして新鮮さを出す。</li> <li>・ 常に利用者の目線に立って居心地の良い環境を整える。</li> </ul>

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
2	職員はあいさつできていますか？	5		
3	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		
4	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		2
5	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・外で職員と会うことはないが、施設で会った時に職員はよく挨拶をしてくれる。
- ・地域に事業所のことは知られていますが、事業内容までは詳しく理解していないと思う。
- ・行事やイベントでは職員と利用者を外で見かけます。
- ・事業所内は常に明るい雰囲気、全てのスタッフに相談しやすい。
- ・送迎時のスタッフの声かけ、挨拶は励みと元気をもらえる。

【前回の改善計画】

- ・コロナ感染症の様子を見ながら計画を立てる。
- ・北狩野便りの継続。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・コロナの影響で地域との係わりが疎遠になっていたが、牧之郷地区文化展への出展。子ども食堂で異世代の交流を行うなど地域と積極的に関わろうとする姿勢と関係が途切れなないようにする工夫がみられた。
- ・来所するといつも職員方が気持ちよく挨拶をしてくれる。
- ・子ども食堂では、意図的に毎回違うボランティアの方に来てもらう様に配慮していたとのこと。多方面の方に関わってもらう事で北狩野ケアセンターを知ってもらう機会となり、地域の中で開かれた施設へと繋がっていくことを期待したい。
- ・牧之郷地区文化展への出展。
- ・子ども食堂の実施（お弁当配付）
- ・伊豆総合高校との交流等、地域との交流を強く感じた。

【改善計画】※後日記入

- ・地域に出向いて理解し交流を図る。
- ・防災関連で地域との協力体制を作るため、日頃より地域の方、企業との関係作りを行う。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
2	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5		
3	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		
4	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		1
5	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所以外の活動（値域の行事、イベントを含）の様子は写真入りの「北狩野便り」で知ることができる。利用者は常に笑顔であり楽しんでいるのが「北狩野便り」により伝わってくる。
- ・散歩や園芸、イベントの開催で地域に行くこともあり感謝しています。

【前回の改善計画】

- ・各担当者が担当者会議に出席できる計画を立て、自宅での様子や家族の気持ちを知る機会をつくる。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・牧之郷地区の文化祭へ多く作品を出展し可能な方は会場に出向き鑑賞した様子を伺い、目標があると作品作りのモチベーションも上がり楽しみとなる。その方の特技を活かして行ってもらいたい。
- ・独居で在宅生活している利用者にとっては民生委員さんも大切な支援者の一人である為、他の関係者と同等に連携、協力体制を積極的に築いていけると良いと感じる。
- ・利用者の家族が参加している地域のイベント（祭り）等に利用者連れて行く等、温かみを感じる。
- ・民生委員の意見を聞く等、地域との繋がりを強める姿勢を感じた。

【改善計画】※後日記入

- ・初期支援の自宅訪問、送迎、訪問など多くの職員で関わる。
- ・自分の眼で見て感じ、その人のことや家族の思いを知り支援に活かす。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	
2	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		1
3	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5		
4	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		
5	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		1

**【上記5つのチェック項目に関する意見】**

- ・民生委員の立場からの意見を上手に話すことができなかった。1年目は事業所の取り組みや内容を理解していきことが精一杯だった。
- ・会議の資料がわかりやすく作成されており、説明も担当者別に詳しくされていた。
- ・利用者、利用者家族、行政、民生委員等、それぞれの立場で活発に意見を出し合えたことは向上、改善に繋がると思う。

**【前回の改善計画】**

- ・今後も困難事例について出席者の意見をもらい情報の共有をしていく。困難事例の方がいる地域の民生委員にも出席してもらえるように声をかけていきたい。

**【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】**

- ・会議内容を活かし、サービスの向上に繋げて欲しいと思う。
- ・会議の場を利用し、小規模多機能の特徴や利点等を民生委員に理解してもらおう事は互いに困難解決に繋がるのではないかと思う。
- ・会議においては全体では改善に繋がっている評価があっても、個別の対応としては家族を活かした取り組みにはなっていない部分も感じる。

**【改善計画】※後日記入**

- ・地域の課題に取り組む時は、専門職や民生委員など多職種で会議を開催。
- ・会議や連絡などで意見や提案を伺い、情報共有していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
2	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	
3	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3		2
4	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	3	
5	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・災害時（水害以外）に施設の駐車場などを、地域に一時的に活用させて頂けた良いと思います。
- ・事業所、利用者、家族との信頼関係が築かれているので災害時も頼りになる。

【前回の改善計画】

- ・コロナ禍ではあるが出来る範囲で施設の防災訓練にご家族や推進委員のメンバーにも参加してもらえよう声をかけ、防災マニュアルを確認し計画を立てる。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・避難訓練の際、参加者が怪我をしたと事故報告がありました。安全に行えるように訓練を実施してください。
- ・防災訓練に施設職員以外の参加を計画することで多角的な視点の意見を得られるかもしれない。防災力を高めるには効果的と感じた。
- ・水害が心配される立地にある事から、移動を伴う訓練の必要性を感じる。
- ・想定外の災害が起きたときに、最善を尽くしていただけると信じているが、家族としてはある意味、覚悟をして利用しています。

【改善計画】※後日記入

- ・災害時や訓練時の職員の役割分担を明確にして、無駄のない行動をとる。
- ・事故が起きないように安全を最優先にする。
- ・大規模災害を想定し、隣接する企業に協力体制を図り地域で支え合い協力する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人春風会	代表者	堀内 和憲	法人・事業所の特徴	高齢者・障害者・児童のさまざまな福祉サービスを展開しています。当事業所は H18 年に開設以来、地域の方や他の事業所・医療関係者の方々と連携を図ってきました。柔軟なサービスを利用しながら、在宅生活を支援しています。
事業所名	北狩野ケアセンター	管理者	池田 貴則		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	2人	1人	0人	14人	0人	21人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者のしたいこと、家族が望んでいることに沿う支援を計画し、利用者の想いを正しく理解しズレのないケアと支援をする。	利用者の以前の暮らしや得意なことを引き出し、施設では個別ケアに活かし、在宅ではそれらを継続できるように心掛け、生きがいを図ろうとする試みは見えた。	利用者の情報を共有するのに書面や口頭での申し送りだけでなく写真や動画を活用していたとのこと。言語だけでは伝わりにくい部分が解消されていた。	利用者の思い、家族の希望を理解しニーズに沿った支援をする。計画を具体的に立て、達成度の把握をして支援していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者の目線に立って生活しやすい環境を整える。利用者を最優先とし、居心地の良い空間を作る。	整理整頓しやすい環境ができたので、引き続き使ったものを元へ戻せるように声を掛け合う。	冬季には可愛いイルミネーションが設置され通る人々の目を癒やしてくれる。玄関内の飾りや利用者の作品の展示を見るのを楽しみにしている。	毎年、実施することでも変化や改善をして新鮮さを出す。常に利用者の目線に立って居心地の良い環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方に来ていただくだけでなく、出かけて行き地域の事を理解し交流を図る。施設のことをもっと知っていただく。	コロナ感染症の様子を見ながら計画を立てる。北狩野便りの継続。	子ども食堂では毎回違うボランティアで多方面の関わりを感じた。文化展の出品、伊豆総合高校など地域との繋がりを感じた。	地域に出向いて理解し交流を図る。防災関連で地域との協力体制を作るため、日頃より地域の方、企業との関係作りを行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方や民生委員に地域の課題や相談を共有し協力していく。送迎、訪問等多くの職員で地域と関わる。	各担当者が担当者会議に出席できる計画を立て、自宅での様子や家族の気持ちを知る機会を作る。	地域のイベントや祭りに利用者を持っていくことに温かさを感じた。民生委員や地域の方を支援の会議に招き、連携を感じた。	初期支援の自宅訪問、送迎、訪問など多くの職員で関わり、自分の眼で見て感じ、その人のことや家族の思いを知る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の課題に取り組む。状況に応じ専門職の方を会議に招待し意見や提案を伺い問題を解決していく。	今後も困難事例について出席者の意見をもらい情報の共有をしていく。困難事例の方がいる地域地域の民生委員にも出席してもらえるように声をかけていきたい。	会議内容を活かし、小規模多機能の特徴や利点を生かし、今後の困難事例にも繋げて欲しい。個別の対応としては、家族を活かした取り組みにはなっていない部分も感じる。	地域の課題に取り組む時は、専門職や民生委員など多職種で会議を開催し意見や提案を伺い、情報共有していく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>夜間の職員が少ない時の対応や連絡の確立を図る。 災害の種類が異なっても安全に行えるようにさまざまな訓練を実施する。</p>	<p>コロナ禍ではあるができる範囲で施設の防災訓練にご家族や推進委員のメンバーにも参加してもらえよう声をかけ、防災マニュアルを確認し計画を立てる。</p>	<p>防災訓練に施設職員以外の参加を計画することで多角的な視点の意見を得られるかもしれない。防災力を高めるには効果的と感じた。</p>	<p>職員の役割分担の確立。 事故がないように安全を確保。 大規模災害を想定し、隣接する企業に協力体制を図り、地域で支え合い協力する。</p>
----------------------------	--	---	---	---